



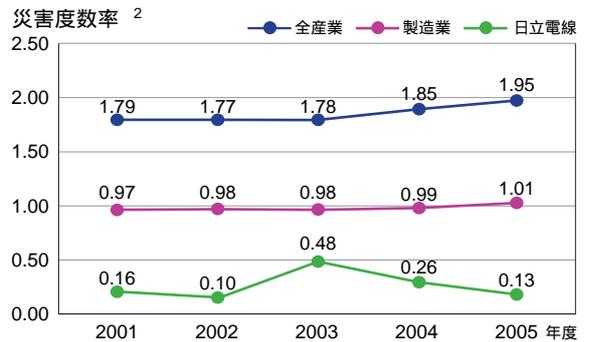
「安全と健康を守ることはすべてに優先する」との基本理念のもと、設備の本質安全化・危険予知活動・疾病予防活動・安全衛生教育の整備等の継続的な活動に加え、労働安全衛生マネジメントシステム（OSHMS¹）により、確実な安全ノウハウの継承と更なる安全衛生管理レベル向上を図っています。

安全活動概要

近年、労働安全衛生マネジメントシステムの定着化に加え、安全心の育成、安全情報の充実を重点テーマとして推進してきました。しかし、2003年に不安全な行動から生じた災害が顕著になり、安全心の育成プログラムや従前のリスクアセスメントのプロセスを見直し、一人ひとりが安全の主役であることの再認識・徹底を図るため、安全活動の原点に立ち返り、全員参加型の取組みを重視して災害防止に努めています。

2006年度全社安全衛生管理方針

1. 危険感受性と観察力、是正力の向上
2. 高リスク設備・作業の日常安全対策の推進及び防災管理対策の推進
3. 円滑なコミュニケーションによるグループ会社・請負会社・派遣社員の災害防止対策の徹底
4. 健康管理・予防対策の充実
5. 交通安全対策の継続推進



近年の安全活動の沿革

主な重点テーマ	2001	2002	2003	2004	2005	2006	
OSHMSの定着化	2001年度からスタート						
リスクアセスメント	設備リスクアセスメント(2000年下期スタート)		非正常作業リスクアセスメント				
						全員参加リスクアセスメント	
安全心の育成	ふれあい朝礼(安全事務局との合同職場朝礼、KYT ³ 指導、情報交換など)						
	職場安全診断+昼食懇談会(安全事務局との合同巡視、情報交換)						
			気がかり事項報告	職場安全診断にてフォローアップ			
安全情報の充実						安全アンケート(リスク情報)	職場安全診断にてフォローアップ
	危険感受性向上教育(KYT、安全体感教育)						
安全情報の充実	安全衛生ホームページ開設(各種安全情報を掲載)						
	安全ニュース(毎週金曜日発行、翌週の朝礼等に活用)		KYTシートを追加		過去の災害事例シートを追加	指導用安全教育資料を追加	

1 Occupational Safety & Health Management System

2 度数率:延べ100万時間あたりの休業災害件数

3 危険(K)予知(Y)トレーニング(T)の略

危険感受性向上教育

危険に対する慣れや知識・体験不足による危険予知能力の低下が懸念されるなか、危険感受性の向上に加え、実際に危険から回避、対応する力を身に付けていくために、KYT及びビデオ視聴による危険感受性向上教育、不安全装置を使用した体感教育など、安全教育の充実を図っています。



現場KYT(危険予知訓練)風景



危険感受性向上教育風景

防災対策

2003年から12月を「防災強調月間」として全社的に防災意識の啓蒙、防災管理体制の整備に取り組んでおります。9月には、大地震を想定した避難訓練を工場毎に実施しています。

また、年間を通じて、工場自衛消防隊による各種訓練、定期的な職場毎の初期消火訓練、異常事態想定訓練など、万一来に備え、被害を最小限とするための訓練・教育を継続的に推進しております。



避難訓練風景

交通安全

警察関係者を講師に招聘した交通講演会、新規マイカー通勤者教育、SDカー⁴教育など、交通安全意識の高揚と運転マナーの再確認などを目的に、継続的に実施しています。



SDカー受講風景

健康

30歳・35歳到達時及び40歳以上の人間ドック受診制度を確立し、健康管理の充実を図っています。また、生活習慣病の予防活動として「高血圧」「糖尿病」「高脂血」「腎症」の疾病予備群に対する定期的な保健指導を実施しています。メンタルヘルスに関しては、日立グループ内の医療機関やEAP⁵センタと連携し、相談体制の整備、管理者教育等を積極的に推進しています。

- 4 Safety Driverカー = 安全運転教育設備を備えた巡回車両
- 5 Employee Assistance Program(従業員支援プログラム)